

事業所名 児童発達支援事業所 夢

## 支援プログラム

作成日：令和6年8月30日

法人（事業所）理念	子どもたちの希望や願いに寄り添い、自信とやる気を引き出し「楽しい！」「できた！」が増える生活を保障していきます。ご家族が、子どもとの生活をより楽しく、過ごしやすいものになるようにサポートさせていただき、将来を見通すことができる伴走者でありたいと願っています。		
支援方針	応用行動分析学の考えに基づき、子どもの行動の背景にある原因を追求し、成功体験を積み重ねていく中で不適切な行動を減らし、適切な行動を増やしていきます。		
営業時間	9時から16時まで	送迎実績の有無	あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	子ども自身が見通しを持って主体的に遊びや生活に取り組み、食事・排泄・着脱・睡眠など、基本的な生活習慣を身につけます。また、給食は事業所で作られています。こだわりの強いお子さまも、色々な食材や調理法、お友達が食べている姿などに触れ、食べてみようとする気持ちを育みます。噛む力・飲み込む力・味・見た目など、お子さまの今の発達に合わせて工夫し、食べる力を育みます。	
	運動・感覚	毎日の散歩や外遊び、さくらんぼリズムを行います。また、雨の日はサーキットや新聞紙遊び、粘土・スライム遊びなどを行います。	
	認知・行動	畑仕事や味噌づくりなどの様々な体験を通じて、認知行動面を養います。また、毎日同じ流れで1日を過ごせるように分かりやすいプログラムになっています。続けて通っていただくことで、お子さま自身が生活の見通しをもち、生活や遊びの中で自ら考えて行動できるように支援していきます。	
	言語・コミュニケーション	日常生活や遊びの中で他者と様々な感情を共有することで発達を促します。	
	人間関係 社会性	子どもは子ども達の中で、学び合い成長していきます。色々な大人や子ども達と関わり合って育っていくことで、自分に自信を持ちコミュニケーションをとって生きていく力を育みます。	
家族支援	親子療育の実施や懇談会、学習会を開催し、同じ悩みを持つ保護者同士のつながりをつくりながら保護者や家族の障がい受容のサポートをしています。	移行支援	適正な就学や転園について一緒に考え、見学等行いながら、子どもの立場に立った次の進路決定のサポートを行います。
地域支援・地域連携	身近な地域における通所支援機能として、日々通所してくる児童はもとより、通所児童以外の地域の障がい児やその家族を対象とした支援や保育所をはじめとする障がい児を預かる施設への援助や助言を合わせて行うなど、地域の中核的療育施設としての役割を果たし、計画相談事業所と協力協同しながら、地域の要望に応じてきます。	職員の質の向上	子ども達が友達との遊びの中で、楽しみながら成長発達し、豊かな人間性が育まれるよう、子どもと関わる職員一人一人の経験や職責にあわせて研修を計画し、専門性の向上に努めます。
主な行事等	野外活動・夏祭り・運動会・舞台鑑賞		